

交野市教委ニュース

第173号（令和4年12月13日発行）

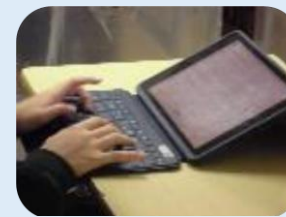
小中一貫教育の取組みを進めています～秋～

交野みらい小学校の6年生児童が第一中学校へ行き、実際に中学校の先生の授業を受けたり、第一中学校の生徒が製作した中学校生活の様子をおさめた動画を視聴したりしました。他学園（中学校区）でも同様の取組みを実施しています。（詳細は市教委ニュース第169号をご覧ください）

交野みらい学園（交野みらい小学校・第一中学校）



体験する教科（国語・数学・英語・保健体育）に分かれて、中学校の先生の授業を受けました。



中学校での生活を体験することで、希望を膨らませることができたのではないのでしょうか。

コミュニティ・スクールの活動も進んでいます

交野みらい学園では、令和4年度より学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが導入されました。現在、13名の学校運営協議会委員を中心に、交野みらい学園の子どもたちのためにどのような支援活動ができるか等について協議されています。

そのような中、交野みらい学園の教職員を対象に、コミュニティ・スクールに係る研修を実施しました。（学校運営協議会委員の方々への研修は令和4年6月24日に実施しました）

第一中学校区（交野みらい学園）

コミュニティ・スクール教職員研修会

11月10日（木）、第一中学校の体育館にて教職員研修を実施しました。令和4年度 文部科学省 CS マイスターである、広島県府中市教育委員会 教育部 学校教育課 主幹 宮田 幸治 氏 を講師にお招きし、府中市におけるコミュニティ・スクールのこれまでの進め方や具体的な活動事例について紹介いただきました。

研修後のふりかえりでは、「学校と地域が協働して子どもたちを見守るという取組みについてのイメージや道筋が見えた」など、「地域とともにある学校」の実現にむけて、前向きな意見がありました。

